



学校教育目標：笑顔いっぱい 楽しく学ぶ 鍋島っ子の育成

なべしまっ子

学校便り4号

令和8年7月2日

児童数703名

文責 井原 竹始

水の事故から子供を守る!!

暑い季節になると、海や川、プールなどの水辺で遊ぶ機会が増えます。しかし、子供にとって水難事故は、重大な事故につながる可能性が高いです。毎年、この時期になると、水の事故のニュースを聞きます。今年も佐賀県内で中学生が水の事故で命を落としたという悲しいニュースがありました。子供たちに海や川、プール等の危険性を十分に伝え、子供たちが正しい行動を取り、命を守ることができるように、学校と家庭の両方で指導していく必要性を感じています。

低学年の時期は、危険を予測する能力や、自分の体力に見合った行動をとる判断力は、まだ発達段階にあります。ある程度泳げるようになり、自分の能力を過信してしまい、深い場所に進んでしまう可能性があります。そのために、具体的な行動ルールと安全に対する意識付けをすることが重要です。

高学年になると、自分の行動の責任を理解し、ある程度の危険予知もできるようになります。しかし、それはあくまで「ある程度」です。特に友達と一緒に遊んでいる際には、危険を見落としてしまう可能性も考えられます。そのため、事前に水辺の危険性やルールについてしっかり話し合い、安全意識を高めておくことが重要です。

以下のことを共通理解し、子供たちを水の事故から守りましょう

【予防】

1 子供だけの水遊び（釣り）はさせない ⇒ 必ず保護者同伴で

2 ライフジャケットを着用させる

海や川でおぼれた場合、助けを待つ間、頭部を水面上に出し続けることができるライフジャケットは命綱となります。

3 水遊びのルールを守らせる

遊泳禁止のところで遊ばない、大人のそばから離れない、飛び込まない、監視員の指示に従う、プールの排水口に近づかない、こまめな休憩をとる等。

4 安全確認を習慣化させる

水辺で遊ぶ前に、子供たち自身に安全確認をさせる。水深、流れの速さ、水温、天候、監視員の有無、周囲の環境などを確認することで、危険を予測する力を養うことができます。

【もし、おぼれてしまったら】

1 背浮きをする

肺に空気をたくさん入れ、力を抜いて仰向けになります。ペットボトルなど浮力のあるものがあれば、お腹の上で抱えるようにすると長く浮いていられます。

2 無理に声を出さない

無駄な体力を使い、水を飲んでしまうこととなります。

3 流れに逆らわない

海などで沖に流されている場合は、無理に岸に向かって泳がずまずは浮くことに専念する。

【おぼれている人を見つけたら】

1 絶対に飛び込んで助けようとはしない～二次災害を防ぐ

2 大声で周りの人に助けを求める

すぐに周りの人（大人）に助けを求め、119番通報をする。

3 浮くものを投げる

ペットボトル、クーラーボックスなど、浮き輪代わりにするものを投げる。

総合的な学習の時間～地域の力を借りてスタート

鍋島小学校では、年間を通して地域の方の協力を得て、3～6年生の総合的な学習の時間を進めています。特にまちづくり協議会の皆さんには全面的な協力を得ており、大変ありがたいです。地域の方とつながりながら、各学年のテーマに迫っています。今年度もそれぞれの学年で学習がスタートしました。



- (6年生)【地域の人とのつながりと歴史】まちづくり協議会ふるさと学習部会との連携
- (5年生)【地域の人とのつながりと職業】西久保さん・保護者等との連携
- (4年生)【地域の人とのつながりと安全】まちづくり協議会安全互助部会との連携
- (3年生)【地域の人とのつながりと健康】まちづくり協議会すこやか元気部会との連携

フリー参観デー来校ありがとうございました



6月8日(日)はフリー参観デーでした。多くの方に来校していただき、子供たちの学習の様子を見ていただくことができ大変嬉しく思っています。子供たちは、お家の方や地域の方が来てくださり嬉しそうでした。アンケートに協力していただいた学校の応援団である保護者、地域の方の声を紹介します。

- 子供たちの話をしっかり聞いてくださっていて、子供たちもいきいきと授業に取り組んでいた。
- 子供たちの普段の様子が見られて嬉しかったです。一方、廊下にいる保護者たちの中には、普通の声のボリュームで談笑している人もいて、同じ大人として恥ずかしかったです。
- 子供の成長を感じられ、いろいろな事を体験できている感じでした。
- みんな真面目に取り組んでいた。
- クラスの雰囲気がよく、自分の子供が安心して学び、遊べる環境だなと思いました。
- 学校での子供の様子が見られて良かった。
- 子供の意欲を高めるように工夫をされた授業だった。
- 子供たちが落ち着いて学校生活を送れていると思った。先生や友達と良い関係が作れているからだと感じた。

午後からは、児童の引き渡し訓練を実施しました。緊急時に子供たちを安全に自宅へ帰すための訓練です。大雨や雷、不審者等、様々な場面で子供たちの安全を考えなければなりません。その際、スムーズに引き渡せるようにするために訓練は欠かせないと考えています。事前にプリントを配布し、訓練の流れをお知らせしていました。お迎えの時刻や南門から入って運動場に駐車し、公民館側の門から出る一方通行のルールをしっかり守っていただいたことで混乱なく終了することができました。ご協力ありがとうございました。